

カトリック秋津教会



名称

カトリック秋津教会

教会堂名

主の降誕

創立年月日

1934年12月25日



主任司祭

パウロ 野口 邦大（のぐち くにひろ）

信徒数

657人（2018年12月31日現在）

主日のミサ

日曜日 6:30 / 10:00

週日のミサ

月 火 木 土曜日 6:30

金曜日 10:00

宣教協力体

武蔵野北

教会学校

日曜日（第5日曜日を除く）10時ミサ後

講座

毎週金曜日 10時ミサ後

ボランティア活動

原則、第4日曜日 11:00（10:00のミサの後、ベトレヘムの園病院にて。）

住所

〒204-0024 東京都清瀬市梅園3-14-18 [[Google地図](#)]

電話

042-491-2781

Fax

042-491-2784

身障者設備

スロープ、トイレ

交通案内

西武池袋線「秋津駅」より、徒歩13分。

JR武蔵野線「新秋津駅」より、徒歩18分。

【西武池袋線「清瀬駅」北口より】

3番のりば 西武バス 所46系統 所沢駅東口行き

【清瀬駅南口より】

2番のりば 西武バス 久11系統 久米川駅行き

どちらも「上宮（じょうぐう）停留所」下車、徒歩5分。

□

駐車場 あり

□

歴史

「あきつ」は、万葉の昔からトンボの呼び名でした。

秋空に無数のトンボが飛び交っていたここ武蔵野の地に、イエスの福音をもたらしたのは、パリ外国宣教会のヨゼフ・フロジャク 神父 (1886～1959年) です。

「悩める人びとのうちに住まわれるキリストに仕えよ」との 使命感に燃えた神父は、1932年、畑と雑木林しかなかった秋津に、66、000平方メートルの土地を求めました。1933年、教会が設立され、翌34年には小教区教会 (名称は清瀬教会) となりました。1959年には清瀬駅そばに小教区が設立されたので、「秋津教会」と名称が変わりました。

昭和初期の貧しい時代から戦後にかけて、この広い土地に結核患者の療養施設、一般病院、養護施設、学校、老人ホームがつくられ、そこで働くベタニア修道女会のシスターは、病者と弱い人への奉仕、そして教育に長い歳月を捧げてきました。

初代から第6代まで、53年間の歴代主任司祭は、パリ外国宣教会の司祭でした。

1979年4月30日に秋津教会の聖堂、司祭館、信徒会館の落成式が行われています。1989年から東京教区司祭になり、豊島神父は11代目です。

沿革

秋津教会は、児童養護施設ベトレヘム学園、東星学園 (幼小中高)、聖家族ホーム、老人福祉施設 聖ヨゼフホーム、ベトレヘムの園病院 (近年、すべてが新しく建て替えられました) などの教育 医療 福祉の施設に同じ構内にあります。

広い敷地内には、芝生と木立に囲まれて、3つの修道院が点在しています。これらは「神と人に対する限りない愛を実行しよう」との 信念に燃えて、73年の生涯を捧

げた、フロジャク神父の足跡でもあります。

そして、教会から徒歩数分のところに、国立多磨全生園があり、愛徳会とはミサをとおしての交流があります。

現状

信徒数約650人の秋津教会は、「若い命をはぐくむ場」「憩いと休養の場」として、私たちがどう生きるべきかについて、多くのことを考えさせます。

設立の志を受けつぎ、子供たち、高齢者、健康な人、病気や障害をもっている人たちなど、皆が参加する教会づくりをめざしています。

2000年4月3日老朽化した信徒会館の建設が始まり、同年11月26日新しい信徒会館 - マリアホール - の完成を迎え、信徒の活動と地域に根ざした活動拠点として出発した。侍者会、教会学校、中高生会、ボランティア会、聖書勉強会、聖歌隊などの活動の場として、時には夜遅くまで窓から明りがもれてくることもあります。

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」というイエスの呼びかけに応えて生きる秋津教会です。